

美作監査第27号

平成29年8月29日

美作市長 萩原 誠 司 殿

美作市監査委員	高 田	修 平
美作市監査委員	東 内	義 典
美作市監査委員	水 元	千都江
美作市監査委員	山 本	雅 彦

平成28年度美作市公営企業会計決算審査意見について

地方公営企業法第30条第2項の規定により、審査に付された平成28年度美作市公営企業会計決算及び各証書類その他関係書類を審査したので、その結果について次のとおり意見書を提出します。



平成28年度

美作市公営企業会計決算審査意見書

美作市水道事業会計

美作市病院事業会計

美作市下水道事業会計

美作市監査委員



## 目 次

第1	審査の対象	1
第2	審査の期間	1
第3	審査の方法	1
第4	審査の結果	1
1	美作市水道事業会計	2
	(1) 事業概要	2
	(2) 予算の執行状況	2
	(3) 経営成績	4
	(4) 財政状況	6
	(5) むすび	8
2	美作市病院事業会計	9
	(1) 事業概要	9
	(2) 予算の執行状況	9
	(3) 経営成績	11
	(4) 財政状況	13
	(5) むすび	15
3	美作市下水道事業会計	16
	(1) 事業概要	16
	(2) 予算の執行状況	17
	(3) 経営成績	22
	(4) 財政状況	25
	(5) むすび	27

- (注) ① 説明文中の金額は原則として万円単位で表し、万円未満については四捨五入した。  
このため計数が一致しないことがある。
- ② 比率・割合は、原則として小数点第2位を四捨五入した。このため計数が一致しない  
場合がある。
- ③ 各表中比較増減の減は、△印で表示した。
- ④ 1.事業概要、2.予算執行状況は消費税込みで示し、3.経営成績、4.財政状況は消費  
税抜きで表示した。
- ⑤ 「0.0」は、該当数値はあるが表示単位未満のものである。
- ⑥ 「-」は、該当数値のないもの又は比率が0のものである。
- ⑦ 「皆増」は、前年度に数値がなく全額増加したものである。
- ⑧ 「皆減」は、当該年に数値がなく全額減少したものである。



# 平成28年度美作市公営企業会計決算審査意見

## 第1 審査の対象

平成28年度 美作市水道事業会計決算  
平成28年度 美作市病院事業会計決算  
平成28年度 美作市下水道事業会計決算

## 第2 審査の期間

平成29年7月14日から平成29年8月28日まで

## 第3 審査の方法

審査にあたっては、都市監査基準に準拠し、各会計歳入歳出決算書及び付属書類が関係法令に適合して作成されているかどうかを確認し、これらの計数について関係諸帳簿及び関係資料を照査し、担当職員の説明を聴取して比較分析等の検討を加えて審査した。

## 第4 審査の結果

審査に付された歳入歳出決算書及びその他関係諸帳簿等はいずれも関係法令に準拠して作成され、計数は符合し正確であり、予算の執行はおおむね適正であることを認めた。

なお、各事業の決算概要及びこれに対する審査意見は次のとおりである。

# 1 平成 28 年度 美作市水道事業会計

## (1) 事業概要

1 年間の業務実績は次表のとおりである。

年度 区分	単位	28	27	増 減	対前年度比
給 水 人 口	人	20,744	21,039	△ 295	98.6%
加 入 戸 数	戸	11,224	11,215	9	100.1%
給 水 戸 数	戸	9,929	9,959	△ 30	99.7%
給水中止戸数	戸	1,295	1,256	39	103.1%
総 配 水 量	m <sup>3</sup>	3,095,816	3,156,808	△ 60,992	98.1%
有 収 水 量	m <sup>3</sup>	2,461,352	2,544,996	△ 83,644	96.7%
有 収 率	%	79.51	80.62	△ 1.11	

## (2) 予算の執行状況

当年度の予算執行状況は次のとおりである。

### ① 収益的収入及び支出

《収入》

(単位：円・%)

区 分	予算額	決算額	収入率	予算額に比べ 決算額の増減
水 道 事 業 収 益	635,644,000	600,730,146	94.5	△ 34,913,854
営 業 収 益	607,243,000	570,030,009	93.9	△ 37,212,991
営 業 外 収 益	28,401,000	30,700,137	108.1	2,299,137

《支出》

(単位：円・%)

区 分	予算額	決算額	執行率	不用額
水 道 事 業 費 用	635,446,000	546,608,935	86.0	88,837,065
営 業 費 用	593,415,000	507,634,128	85.5	85,780,872
営 業 外 費 用	37,931,000	37,929,902	100.0	1,098
特 別 損 失	1,100,000	1,044,905	95.0	55,095
予 備 費	3,000,000	0	—	3,000,000

収益的収入決算額 6 億 73 万円の内訳は営業収益 5 億 7,003 万円、営業外収益 3,070 万円であり、予算額 6 億 3,564 万円に対し 94.5%の収入率になっている。

収益的支出決算額 5 億 4,661 万円の内訳は営業費用 5 億 763 万円、営業外費用 3,793 万

円、特別損失 104 万円であり、予算額 6 億 3,545 万円に対し 86.0%の執行率である。

② 資本的収入及び支出

《収入》

(単位：円・%)

区 分	予算額	決算額	収入率	予算額に比べ 決算額の増減
資 本 的 収 入	4,074,000	4,884,000	119.9	810,000
出 資 金	834,000	834,000	100.0	0
負 担 金	3,240,000	4,050,000	125.0	810,000

《支出》

(単位：円・%)

区 分	予算額	決算額	翌年度繰越額	執行率	不用額
資 本 的 支 出	303,853,000	222,045,468	0	73.1	81,807,532
建 設 改 良 費	243,520,000	161,713,340	0	66.4	81,806,660
企 業 債 償 還 金	60,333,000	60,332,128	0	100.0	872

資本的収入決算額 488 万円の内訳は出資金が 83 万円、負担金が 405 万円で、予算に対する収入率は 119.9%となっている。

資本的支出決算額 2 億 2,205 万円の内訳は建設改良費が 1 億 6,171 万円、企業債償還金が 6,033 万円で、予算に対する執行率は 73.1%である。

### (3) 経営成績

#### ① 損益計算書

当年度の経営成績は、次のとおりである。

#### 損益計算書

(単位：円・%)

科 目	28		27		対前年度比	
	金 額	構成比	金 額	構成比	増 減	増減率
営 業 収 益	528,208,165	94.5	538,018,500	94.9	△ 9,810,335	△ 1.8
給 水 収 益	505,431,580	90.4	519,766,875	91.7	△ 14,335,295	△ 2.8
受 託 工 事 収 益	2,330,270	0.4	1,003,124	0.2	1,327,146	132.3
その他の営業収益	20,446,315	3.7	17,248,501	3.0	3,197,814	18.5
営 業 費 用	495,390,383	95.8	512,039,780	95.7	△ 16,649,397	△ 3.3
原水及び浄水費	58,286,083	11.3	64,032,065	12.0	△ 5,745,982	△ 9.0
配水及び給水費	73,699,829	14.3	59,131,083	11.0	14,568,746	24.6
受 託 工 事 費	2,472,000	0.5	653,000	0.1	1,819,000	278.6
総 係 費	144,212,498	27.9	154,994,003	29.0	△ 10,781,505	△ 7.0
減 価 償 却 費	199,234,412	38.5	206,620,263	38.6	△ 7,385,851	△ 3.6
資 産 減 耗 費	16,948,511	3.3	26,107,936	4.9	△ 9,159,425	△ 35.1
その他営業費用	537,050	0.1	501,430	0.1	35,620	7.1
営 業 利 益	32,817,782	—	25,978,720	—	6,839,062	26.3
営 業 外 収 益	30,700,137	5.5	28,789,183	5.1	1,910,954	6.6
受取利息及び配当金	746,328	0.1	843,667	0.1	△ 97,339	△ 11.5
他 会 計 補 助 金	3,691,000	0.7	4,023,000	0.7	△ 332,000	△ 8.3
長期前受金戻入	26,262,809	4.7	23,922,516	4.2	2,340,293	9.8
営 業 外 費 用	20,795,567	4.0	22,924,903	4.3	△ 2,129,336	△ 9.3
支払利息及び企業債取扱諸費	20,721,702	4.0	22,846,243	4.3	△ 2,124,541	△ 9.3
雑 支 出	73,865	0.0	78,660	0.0	△ 4,795	△ 6.1
経 常 利 益	42,722,352	—	31,843,000	—	10,879,352	34.2
特 別 損 失	967,505	0.2	320,277	0.1	647,228	202.1
過年度損益修正損	967,505	0.2	320,277	0.1	647,228	202.1
当 年 度 純 利 益	41,754,847	—	31,522,723	—	10,232,124	32.5
前年度繰越利益剰余金	36,209	—	513,486	—	△ 477,277	△ 92.9
当年度未処分利益剰余金	41,791,056	—	32,036,209	—	9,754,847	30.4

(注) 構成比は総収益、総費用に対する比率である。

ア 営業損益

営業収益 5 億 2,821 万円から営業費用 4 億 9,539 万円を控除した営業利益は、3,282 万円となっている。

イ 経常損益

営業利益に営業外収益 3,070 万円及び営業外費用 2,080 万円を加減した経常利益は 4,272 万円となっている。

ウ 純損益

経常利益に特別損失 97 万円を控除した当年度純利益は、4,175 万円であり、この額に前年度繰越利益剰余金 4 万円を加えた 4,179 万円が当年度末処分利益剰余金となっている。

② 未収金の状況について

水道料金未収金の内訳は、次表のとおりである。

(単位：円・%)

年度 区分		28	27	対前年度比	
				増減	増減率
現年度分	美作地区	5,039,105	5,687,248	△ 648,143	△ 11.4
	作東地区	1,577,889	3,809,642	△ 2,231,753	△ 58.6
	英田地区	573,090	938,168	△ 365,078	△ 38.9
	計	7,190,084	10,435,058	△ 3,244,974	△ 31.1
過年度分	美作地区	7,263,205	6,996,741	266,464	3.8
	作東地区	6,325,211	5,939,119	386,092	6.5
	英田地区	612,967	765,807	△ 152,840	△ 20.0
	計	14,201,383	13,701,667	499,716	3.6
合 計		<b>21,391,467</b>	24,136,725	<b>△ 2,745,258</b>	△ 11.4

平成 28 年度末現在の水道料金の未収金は、2,139 万円であり、前年度と比べ 275 万円 (11.4%) 減少している。

#### (4) 財政状況

① 財政の状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

《資産の部》

(単位：円・%)

科目	28		27		対前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
<b>固定資産</b>	<b>3,971,686,206</b>	<b>75.5</b>	<b>4,038,134,554</b>	<b>76.4</b>	<b>△ 66,448,348</b>	<b>△ 1.6</b>
有形固定資産	3,948,473,550	75.0	4,009,341,250	75.9	△ 60,867,700	△ 1.5
土地	199,888,821	3.8	199,888,821	3.8	0	0.0
建物	163,891,248	3.1	167,536,612	3.2	△ 3,645,364	△ 2.2
構築物	2,790,210,393	53.0	2,850,017,866	53.9	△ 59,807,473	△ 2.1
機械及び装置	784,379,093	14.9	778,873,327	14.7	5,505,766	0.7
車両運搬具	4,521,282	0.1	4,537,355	0.1	△ 16,073	△ 0.4
工具器具及び備品	5,582,713	0.1	8,487,269	0.2	△ 2,904,556	△ 34.2
無形固定資産	23,212,656	0.4	28,793,304	0.5	△ 5,580,648	△ 19.4
水利権	1,390,000	0.0	1,920,000	0.0	△ 530,000	△ 27.6
施設利用権	4,303,056	0.1	5,444,904	0.1	△ 1,141,848	△ 21.0
ソフト使用権	17,519,600	0.3	21,428,400	0.4	△ 3,908,800	△ 18.2
<b>流動資産</b>	<b>1,290,684,660</b>	<b>24.5</b>	<b>1,246,477,544</b>	<b>23.6</b>	<b>44,207,116</b>	<b>3.5</b>
現金預金	1,251,048,091	23.8	1,202,165,335	22.7	48,882,756	4.1
未収金	22,196,467	0.4	23,149,925	0.4	△ 953,458	△ 4.1
貯蔵品	17,302,402	0.3	21,024,584	0.4	△ 3,722,182	△ 17.7
前払金	137,700	0.0	137,700	0.0	0	0.0
<b>資産合計</b>	<b>5,262,370,866</b>	<b>100.0</b>	<b>5,284,612,098</b>	<b>100.0</b>	<b>△ 22,241,232</b>	<b>△ 0.4</b>

《負債及び資本の部》

(単位：円・%)

科目	28		27		対前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
<b>固定負債</b>	<b>564,991,451</b>	<b>10.7</b>	<b>625,323,579</b>	<b>11.8</b>	<b>△ 60,332,128</b>	<b>△ 9.6</b>
企業債(建設改良等企業債)	555,948,619	10.6	616,280,747	11.7	△ 60,332,128	△ 9.8
引当金(修繕引当金)	9,042,832	0.2	9,042,832	0.2	0	0.0
<b>流動負債</b>	<b>145,507,557</b>	<b>2.8</b>	<b>127,492,699</b>	<b>2.4</b>	<b>18,014,858</b>	<b>14.1</b>
未払金	92,266,496	1.8	72,408,542	1.4	19,857,954	27.4
預り金	45,835,061	0.9	46,546,157	0.9	△ 711,096	△ 1.5
引当金	7,406,000	0.1	8,538,000	0.2	△ 1,132,000	△13.3
<b>繰延収益</b>	<b>532,042,773</b>	<b>10.1</b>	<b>558,305,582</b>	<b>10.6</b>	<b>△ 26,262,809</b>	<b>△ 4.7</b>
長期前受金	532,042,773	10.1	558,305,582	10.6	△ 26,262,809	△ 4.7
<b>資本金</b>	<b>3,642,822,979</b>	<b>69.2</b>	<b>3,641,988,979</b>	<b>68.9</b>	<b>834,000</b>	<b>0.0</b>
自己資本金	3,603,227,309	68.5	3,603,227,309	68.2	0	0.0
一般会計出資金	39,595,670	0.8	38,761,670	0.7	834,000	2.2
<b>剰余金</b>	<b>377,006,106</b>	<b>7.2</b>	<b>331,501,259</b>	<b>6.3</b>	<b>45,504,847</b>	<b>13.7</b>
資本剰余金	115,215,050	2.2	111,465,050	2.1	3,750,000	3.4
保険金	21,820,050	0.4	21,820,050	0.4	0	0.0
その他剰余金	93,395,000	1.8	89,645,000	1.7	3,750,000	4.2
利益剰余金	261,791,056	5.0	220,036,209	4.2	41,754,847	19.0
減債積立金	97,000,000	1.8	65,000,000	1.2	32,000,000	49.2
建設改良積立金	123,000,000	2.3	123,000,000	2.3	0	0.0
当年度未処分利益剰余金	41,791,056	0.8	32,036,209	0.6	9,754,847	30.4
<b>負債・資本合計</b>	<b>5,262,370,866</b>	<b>100.0</b>	<b>5,284,612,098</b>	<b>100.0</b>	<b>△ 22,241,232</b>	<b>△ 0.4</b>

資産総額は52億6,237万円で、内訳は固定資産が39億7,169万円、流動資産が12億9,068万円である。また、資産の調達資金源を示す負債及び資本の構成は、固定負債が5億6,499万円、流動負債が1億4,551万円、繰延収益が5億3,204万円、資本金が36億4,282万円、剰余金が3億7,701万円となっており、負債及び資本の総額は52億6,237万円である。

## (5) む す び

### ① 業務実績について

水道は、生活及び社会経済活動を支える基盤施設であると共に、「安全で安心な水道水」の安定的な供給が、快適な生活の実現及び社会の経済の維持・発展に不可欠なものとなっている。また、地域住民のライフラインとして低廉で清浄な水道水を常時安定供給していくことが使命であるが、水需要は次のとおり減少傾向にある。

本年度末における給水人口は20,744人、給水戸数は9,929戸で、前年度と比較すると給水人口は295人、給水戸数は30戸減少している。また、年間総配水量は3,095,816<sup>m</sup>、有収率は79.51%で、前年度と比較すると、配水量は60,992<sup>m</sup>減少、有収率は1.11ポイント低下している。

この様な状況下ではあるが、本年度においても、電気設備の制御盤及び水道管等の基幹設備の更新を実施し安心・安定・安全な給水の確保に努めている。

一方、本年度における経常収支比率は108.28%で、純利益4,175万円が計上されている。

### ② 意見及び指摘事項

今後、高度経済成長期に建設した施設、管路が老朽化し更新時期を迎え、更新費用の増加が見込まれるため、計画的に最小経費で最大効果を得るための検討をしながら、一層の経費削減と市民負担の公平性の観点から、新たな未収金の発生抑止に努めるなど、引き続き収入未済額の縮減に努められたい。

また、社会情勢の変化による需要の動向等を見据えながら、効果的な計画を図り、経営の効率化推進に向けて努力されたい。

なお、水道料金については、依然として上水道区域と簡易水道区域とで差異が生じているため、計画的な見直しを行い、利用者の負担公平と今後の安定した施設運営を確立されたい。

## 2 平成 28 年度 美作市病院事業会計

### (1) 事業概要

1 年間の業務実績は次表のとおりである。

(単位：人・%)

区分 \ 年度	28	27	増 減	対前年度比
入 院	23,298	22,856	442	101.9%
外 来	29,590	32,065	△ 2,475	92.3%

### (2) 予算の執行状況

当年度の予算執行状況は次のとおりである。

#### ① 収益的収入及び支出

《収入》

(単位：円・%)

区 分	予 算 額	決 算 額	収入率	予算額に比べ 決算額の増減
病院事業収益	994,791,000	<b>959,989,187</b>	<b>96.5</b>	△ 34,801,813
医業収益	785,428,000	<b>749,500,951</b>	95.4	△ 35,927,049
医業外収益	209,362,000	<b>210,488,236</b>	100.5	1,126,236
特別利益	1,000	0	—	△ 1,000

《支出》

(単位：円・%)

区 分	予 算 額	決 算 額	執行率	不用額
病院事業費用	986,332,000	<b>870,305,007</b>	<b>88.2</b>	116,026,993
医業費用	955,293,000	<b>842,279,088</b>	88.2	113,013,912
医業外費用	28,038,000	<b>28,025,919</b>	100.0	12,081
特別損失	1,000	0	—	1,000
予備費	3,000,000	0	—	3,000,000

収益的収入決算額 9 億 5,999 万円の内訳は医業収益 7 億 4,950 万円、医業外収益 2 億 1,049 万円であり、予算額 9 億 9,479 万円に対し 96.5%の収入率となっている。

収益的支出決算額 8 億 7,031 万円の内訳は医業費用 8 億 4,228 万円、医業外費用 2,803 万円であり、予算額 9 億 8,633 万円に対し 88.2%の執行率である。

② 資本的収入及び支出

《収入》

(単位：円・%)

区 分	予 算 額	決 算 額	収入率	予算額に比べ 決算額の増減
資 本 的 収 入	38,915,000	<b>38,914,000</b>	<b>100.0</b>	△ 1,000
一般会計出資金	36,693,000	36,693,000	100.0	0
国保特別会計負担金	1,000	0	0.0	△ 1,000
県 補 助 金	2,221,000	2,221,000	100.0	0

《支出》

(単位：円・%)

区 分	予 算 額	決 算 額	執行率	不用額
資 本 的 支 出	74,877,000	<b>74,489,330</b>	99.5	387,670
建設改良費	12,701,000	<b>12,314,160</b>	<b>97.0</b>	386,840
企業債償還金	62,176,000	<b>62,175,170</b>	<b>100.0</b>	830

資本的収入決算額 3,891 万円で、予算に対する収入率は 100.0%となっている。

資本的支出決算額は 7,449 万円で建設改良費が 1,231 万円、企業債償還金が 6,218 万円で、予算に対する執行率は建設改良費 97.0%、企業債償還金 100.0%である。

### (3) 経営成績

#### ① 損益計算書

当年度の経営成績は、次のとおりである。

#### 損 益 計 算 書

(単位：円・%)

科 目	28		27		対前年度比	
	金 額	構成比	金 額	構成比	増 減	増減率
<b>医 業 収 益</b>	<b>745,615,618</b>	<b>78.0</b>	<b>747,824,947</b>	<b>78.7</b>	<b>△ 2,209,329</b>	<b>△ 0.3</b>
入院収益	465,207,285	48.7	459,205,982	48.3	6,001,303	1.3
外来収益	183,468,825	19.2	200,521,158	21.1	△ 17,052,333	△ 8.5
その他医業収益	96,939,508	10.1	88,097,807	9.3	8,841,701	10.0
<b>医 業 費 用</b>	<b>829,727,322</b>	<b>95.4</b>	<b>823,082,835</b>	<b>96.0</b>	<b>6,644,487</b>	<b>0.8</b>
給与費	565,228,060	65.0	559,827,926	65.3	5,400,134	1.0
材料費	74,763,204	8.6	81,299,828	9.5	△ 6,536,624	△ 8.0
経費	112,396,722	12.9	99,137,788	11.6	13,258,934	13.4
減価償却費	77,044,938	8.9	82,617,777	9.6	△ 5,572,839	△ 6.7
資産減耗費	34,576	0.0	25,447	0.0	9,129	35.9
研究研修費	259,822	0.0	174,069	0.0	85,753	49.3
<b>医 業 損 失</b>	<b>84,111,704</b>	<b>—</b>	<b>75,257,888</b>	<b>—</b>	<b>8,853,816</b>	<b>11.8</b>
<b>医 業 外 収 益</b>	<b>210,394,841</b>	<b>22.0</b>	<b>202,497,959</b>	<b>21.3</b>	<b>7,896,882</b>	<b>3.9</b>
受取利息及び配当金	1,159,715	0.1	845,734	0.1	313,981	37.1
他会計補助金	180,200,000	18.8	172,554,000	18.2	7,646,000	4.4
国・県補助金	5,147,000	0.5	4,986,000	0.5	161,000	3.2
患者外給食収益	172,259	0.0	277,464	0.0	△ 105,205	△ 37.9
長期前受金戻入	21,570,180	2.3	21,570,180	2.3	0	0.0
その他医業外収益	2,145,687	0.2	2,264,581	0.2	△ 118,894	△ 5.3
<b>医 業 外 費 用</b>	<b>39,553,227</b>	<b>4.6</b>	<b>34,455,280</b>	<b>4.0</b>	<b>5,097,947</b>	<b>14.8</b>
支払利息及び企業債取扱諸費	13,975,861	1.6	15,139,294	1.8	△ 1,163,433	△ 7.7
患者外給食材料費	163,853	0.0	201,507	0.0	△ 37,654	△ 18.7
院内保育所運営費	6,047,209	0.7	1,409,788	0.2	4,637,421	328.9
雑支出	14,031,304	1.6	12,369,691	1.4	1,661,613	13.4
長期前払消費税勘定償却費	5,335,000	0.6	5,335,000	0.6	0	0.0
<b>経 常 利 益</b>	<b>86,729,910</b>	<b>—</b>	<b>92,784,791</b>	<b>—</b>	<b>△ 6,054,881</b>	<b>△ 6.5</b>
<b>特 別 損 失</b>	<b>0</b>	<b>—</b>	<b>0</b>	<b>—</b>	<b>0</b>	<b>—</b>
<b>当年度純利益(損失)</b>	<b>86,729,910</b>	<b>—</b>	<b>92,784,791</b>	<b>—</b>	<b>△ 6,054,881</b>	<b>△ 6.5</b>
<b>前年度繰越利益剰余金</b>	<b>787,779,170</b>	<b>—</b>	<b>714,994,379</b>	<b>—</b>	<b>72,784,791</b>	<b>10.2</b>
<b>当年度末処分利益剰余金</b>	<b>874,509,080</b>	<b>—</b>	<b>807,779,170</b>	<b>—</b>	<b>66,729,910</b>	<b>8.3</b>

(注) 構成比は総収益、総費用に対する比率である。

ア 医業損益

医業収益7億4,562万円から医業費用8億2,973万円を控除した医業損失は8,411万円となっている。

イ 経常損益

医業損失に医業外収益2億1,039万円及び医業外費用3,955万円を加減算した経常利益は8,673万円となっている。

ウ 純利益

特別損失がないため、当年度純利益は8,673万円となっている。

前年度繰越利益剰余金7億8,778万円に当年度純利益を加算した8億7,451万円が当年度未処分利益剰余金となっている。

② 未収金について

平成28年度末現在の、美作市病院事業会計における患者負担金の未収金の状況は、次表のとおりである。

(単位：円・%)

年度 区分		28	27	対前年度比	
		金額	金額	増減	増減率
現 年 度 分	入院	4,250,769	4,804,704	△ 553,935	△ 11.5
	外来	226,138	282,818	△ 56,680	△ 20.0
	事故	437,571	249,671	187,900	75.3
	介護	93,287	105,556	△ 12,269	△ 11.6
	計	5,007,765	5,442,749	△ 434,984	△ 8.0
過 年 度 分	入院	3,175,654	2,842,154	333,500	11.7
	外来	410,865	298,595	112,270	37.6
	事故	0	0	0	—
	介護	0	0	0	—
	計	3,586,519	3,140,749	445,770	14.2
合 計		<b>8,594,284</b>	8,583,498	10,786	0.1

平成28年度末現在の、患者負担金の未収金は859万円であり、前年度と比べ1万円(0.1%)増加している。

#### (4) 財政状況

① 財政の状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

《資産の部》

(単位：円・%)

科目	28		27		対前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
<b>固定資産</b>	<b>1,952,054,884</b>	<b>56.3</b>	<b>2,023,032,822</b>	<b>59.1</b>	<b>△ 70,977,938</b>	<b>△ 3.5</b>
有形固定資産	1,709,812,213	49.3	1,775,455,151	51.9	△ 65,642,938	△ 3.7
土地	5,861,552	0.2	5,861,552	0.2	0	0.0
建物	1,635,825,678	47.2	1,689,597,148	49.4	△ 53,771,470	△ 3.2
構築物	4,770,848	0.1	4,874,362	0.1	△ 103,514	△ 2.1
機械備品	62,459,357	1.8	73,595,382	2.2	△ 11,136,025	△ 15.1
車両運搬具	894,778	0.0	1,526,707	0.0	△ 631,929	△ 41.4
投資	242,242,671	7.0	247,577,671	7.2	△ 5,335,000	△ 2.2
投資有価証券	200,660,000	5.8	200,660,000	5.9	0	0.0
長期前払消費税	41,582,671	1.2	46,917,671	1.4	△ 5,335,000	△ 11.4
<b>流動資産</b>	<b>1,513,899,886</b>	<b>43.7</b>	<b>1,397,994,096</b>	<b>40.9</b>	<b>115,905,790</b>	<b>8.3</b>
現金預金	1,395,264,439	40.3	1,280,023,886	37.4	115,240,553	9.0
未収金	114,803,030	3.3	115,351,076	3.4	△ 548,046	△ 0.5
貯蔵品	3,832,417	0.1	2,605,984	0.1	1,226,433	47.1
前払金	0	0.0	13,150	0.0	△ 13,150	皆減
<b>資産合計</b>	<b>3,465,954,770</b>	<b>100.0</b>	<b>3,421,026,918</b>	<b>100.0</b>	<b>44,927,852</b>	<b>1.3</b>

《負債及び資本の部》

(単位：円・%)

科目	28		27		対前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
<b>固定負債</b>	<b>808,129,638</b>	<b>23.3</b>	<b>868,540,267</b>	<b>25.4</b>	<b>△ 60,410,629</b>	<b>△ 7.0</b>
企業債	636,312,258	18.4	695,717,328	20.3	△ 59,405,070	△ 8.5
引当金	171,817,380	5.0	172,822,939	5.1	△ 1,005,559	△ 0.6
退職給与引当金	140,827,630	4.1	144,333,189	4.2	△ 3,505,559	△ 2.4
特別修繕引当金	30,989,750	0.9	28,489,750	0.8	2,500,000	8.8
<b>流動負債</b>	<b>96,665,604</b>	<b>2.8</b>	<b>95,400,853</b>	<b>2.8</b>	<b>1,264,751</b>	<b>1.3</b>
企業債	25,000,000	0.7	27,770,100	0.8	△ 2,770,100	△ 10.0
未払金	44,766,433	1.3	41,259,520	1.2	3,506,913	8.5
引当金(賞与引当金)	26,892,000	0.8	26,308,000	0.8	584,000	2.2
預り金	7,171	0.0	63,233	0.0	△ 56,062	△ 88.7
<b>繰延収益(長期前受金)</b>	<b>249,756,684</b>	<b>7.2</b>	<b>269,105,864</b>	<b>7.9</b>	<b>△ 19,349,180</b>	<b>△ 7.2</b>
<b>資本金</b>	<b>1,303,660,295</b>	<b>37.6</b>	<b>1,266,967,295</b>	<b>37.0</b>	<b>36,693,000</b>	<b>2.9</b>
自己資本金	1,303,660,295	37.6	1,266,967,295	37.0	36,693,000	2.9
<b>剰余金</b>	<b>1,007,742,549</b>	<b>29.1</b>	<b>921,012,639</b>	<b>26.9</b>	<b>86,729,910</b>	<b>9.4</b>
資本剰余金	49,253,665	1.4	49,253,665	1.4	0	0.0
国・県補助金	6,084,760	0.2	6,084,760	0.2	0	0.0
負担金	43,168,905	1.2	43,168,905	1.3	0	0.0
利益剰余金	958,488,884	27.7	871,758,974	25.5	86,729,910	9.9
減債積立金	75,000,000	2.2	55,000,000	1.6	20,000,000	36.4
利益積立金	8,979,804	0.3	8,979,804	0.3	0	0.0
当年度未処分利益剰余金	874,509,080	25.2	807,779,170	23.6	66,729,910	8.3
<b>負債・資本合計</b>	<b>3,465,954,770</b>	<b>100.0</b>	<b>3,421,026,918</b>	<b>100.0</b>	<b>44,927,852</b>	<b>1.3</b>

資産総額は34億6,595万円で、内訳は固定資産が19億5,205万円、流動資産が15億1,390万円である。また、資産の調達資金源を示す負債及び資本の構成は、固定負債が8億813万円、流動負債が9,667万円、繰延収益が2億4,976万円、資本金が13億366万円、剰余金が10億774万円となっており、負債及び資本の総額は34億6,595万円である。

## (5) む す び

### ① 業務実績について

本年度末における患者数は、入院が 23,298 人、外来が 29,590 人であった。前年度と比較すると入院が 442 人増加、外来が 2,475 人の減少となっている。

収益的には入院収入が前年比 600 万円の増、外来収入が前年比 1,705 万円の減となっている。

時間外における診療件数は 1,377 件、救急搬送件数は 223 件であった。前年度と比較すると診療件数は 129 件の減少、救急搬送件数は 16 件増加している。

収益的収支は、収益決算額が 9 億 5,601 万円、対前年 569 万円の増、費用決算額は 8 億 6,928 万円、対前年 1,174 万円の増となった。

主な内訳については、収益では、その他医業収益が 884 万円の増、他会計補助金が 765 万円の増、費用面では、給与費が 540 万円の増、材料費が 654 万円の減、経費のうち修繕費が 1,924 万円、院内保育所運営費が 464 万円の増などとなっており、当年度は 8,673 万円の純利益となっている。

資本的収支については、機械備品購入費として血液凝固自動検査システム等を 1,232 万円で購入している。また、企業債償還金 6,218 万円を執行している。

人口減少、国民総医療費の削減など病院経営をめぐる環境の厳しさに加え、医師不足や看護師不足など、医療現場においても厳しい状況が続いている中で、これらの解消にむけて平成 22 年度より地域医療臨床研修協力病院として、研修医の受入を開始するなどの努力をしており、本年度においては、臨床研修医を 11 名、医学部学生を 7 名受け入れている。

### ② 意見及び指摘事項

美作市唯一の公立病院として、この病院に課せられた重大な使命を充分認識し、医師不足、看護師不足の中で、精一杯の運営努力をしていることを高く評価するとともに、今後も職員一人一人が日々の自己研鑽を重ね、真摯に業務に取り組むことを望むものである。

### 3 平成28年度 美作市下水道事業会計

#### (1) 事業概要

1年間の業務実績は次表のとおりである。

項目 \ 年度	単位	28	27	増 減	対前年度比 (%)
水洗化世帯	世帯	10,198	10,128	70	100.7
処理人口	人	27,995	28,484	△ 489	98.3
水洗化人口	人	24,466	24,716	△ 250	99.0
水洗化率	%	87.4	86.8	0.6	100.7
計画面積	ha	1,778	1,778	0	100.0
整備面積	ha	1,516	1,516	0	100.0
処理面積	ha	1,516	1,516	0	100.0
汚水管渠延長	km	606	606	0	100.0
雨水管渠延長	km	2	2	0	100.0
総処理水量	m <sup>3</sup>	3,168,256	3,096,238	72,018	102.3
一日平均処理水量	m <sup>3</sup>	8,680	8,483	197	102.3
総有収水量	m <sup>3</sup>	2,877,916	2,896,822	△ 18,906	99.3
一日平均有収水量	m <sup>3</sup>	7,885	7,936	△ 51	99.4

## (2) 予算の執行状況

当年度の予算執行状況は次のとおりである。

### ① 収益的収入及び支出

《収入》

(単位:円・%)

区 分	予 算 額	決 算 額	収 入 率	構 成 比 率	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減
<b>公 共 下 水 道 事 業 収 益</b>	<b>549,680,000</b>	<b>553,134,020</b>	<b>100.6</b>	<b>20.4</b>	<b>3,454,020</b>
営 業 収 益	162,363,000	165,073,483	101.7	6.1	2,710,483
営 業 外 収 益	387,316,000	388,049,437	100.2	14.3	733,437
特 別 利 益	1,000	11,100	1110.0	0.0	10,100
<b>特 定 環 境 保 全 公 共 下 水 道 事 業 収 益</b>	<b>1,562,677,000</b>	<b>1,556,769,670</b>	<b>99.6</b>	<b>57.6</b>	<b>△ 5,907,330</b>
営 業 収 益	231,903,000	227,650,725	98.2	8.4	△ 4,252,275
営 業 外 収 益	1,330,773,000	1,328,851,439	99.9	49.1	△ 1,921,561
特 別 利 益	1,000	267,506	26750.6	0.0	266,506
<b>農 業 集 落 排 水 事 業 収 益</b>	<b>537,884,000</b>	<b>533,357,028</b>	<b>99.2</b>	<b>19.7</b>	<b>△ 4,526,972</b>
営 業 収 益	59,202,000	55,182,377	93.2	2.0	△ 4,019,623
営 業 外 収 益	478,681,000	478,174,651	99.9	17.7	△ 506,349
特 別 利 益	1,000	0	—	0.0	△ 1,000
<b>小 規 模 集 合 排 水 処 理 事 業 収 益</b>	<b>18,764,000</b>	<b>17,680,740</b>	<b>94.2</b>	<b>0.7</b>	<b>△ 1,083,260</b>
営 業 収 益	2,501,000	1,449,349	58.0	0.1	△ 1,051,651
営 業 外 収 益	16,262,000	16,231,391	99.8	0.6	△ 30,609
特 別 利 益	1,000	0	—	0.0	△ 1,000
<b>個 別 排 水 処 理 事 業 収 益</b>	<b>26,944,000</b>	<b>25,809,862</b>	<b>95.8</b>	<b>1.0</b>	<b>△ 1,134,138</b>
営 業 収 益	8,101,000	7,008,471	86.5	0.3	△ 1,092,529
営 業 外 収 益	18,842,000	18,801,391	99.8	0.7	△ 40,609
特 別 利 益	1,000	0	—	0.0	△ 1,000
<b>生 活 排 水 処 理 事 業 収 益</b>	<b>19,209,000</b>	<b>18,271,718</b>	<b>95.1</b>	<b>0.7</b>	<b>△ 937,282</b>
営 業 収 益	6,101,000	5,195,713	85.2	0.2	△ 905,287
営 業 外 収 益	13,107,000	13,076,005	99.8	0.5	△ 30,995
特 別 利 益	1,000	0	—	0.0	△ 1,000
<b>合 計</b>	<b>2,715,158,000</b>	<b>2,705,023,038</b>	<b>99.6</b>	<b>100.0</b>	<b>△ 10,134,962</b>

《支出》

(単位:円・%)

区 分	予 算 額	決 算 額	執行率	構 成 比 率	不 用 額
<b>公共下水道事業費用</b>	<b>585,774,000</b>	<b>575,594,247</b>	<b>98.3</b>	<b>20.5</b>	<b>10,179,753</b>
営業費用	480,487,000	475,744,163	99.0	16.9	4,742,837
営業外費用	103,687,000	99,628,371	96.1	3.5	4,058,629
特別損失	600,000	221,713	37.0	0.0	378,287
予備費	1,000,000	0	—	0.0	1,000,000
<b>特定環境保全公共下水道事業費用</b>	<b>1,585,846,000</b>	<b>1,571,283,470</b>	<b>99.1</b>	<b>55.9</b>	<b>14,562,530</b>
営業費用	1,317,711,000	1,309,426,318	99.4	46.6	8,284,682
営業外費用	266,535,000	261,475,964	98.1	9.3	5,059,036
特別損失	600,000	381,188	63.5	0.0	218,812
予備費	1,000,000	0	—	0.0	1,000,000
<b>農業集落排水事業費用</b>	<b>610,293,000</b>	<b>597,065,884</b>	<b>97.8</b>	<b>21.2</b>	<b>13,227,116</b>
営業費用	522,318,000	512,355,981	98.1	18.2	9,962,019
営業外費用	86,675,000	84,373,763	97.3	3.0	2,301,237
特別損失	337,000	336,140	99.7	0.0	860
予備費	963,000	0	—	0.0	963,000
<b>小規模集合排水処理事業費用</b>	<b>20,773,000</b>	<b>18,841,179</b>	<b>90.7</b>	<b>0.7</b>	<b>1,931,821</b>
営業費用	16,232,000	14,642,006	90.2	0.5	1,589,994
営業外費用	4,391,000	4,195,803	95.6	0.1	195,197
特別損失	50,000	3,370	6.7	0.0	46,630
予備費	100,000	0	—	0.0	100,000
<b>個別排水処理事業費用</b>	<b>32,344,000</b>	<b>30,750,676</b>	<b>95.1</b>	<b>1.1</b>	<b>1,593,324</b>
営業費用	28,765,000	27,577,283	95.9	1.0	1,187,717
営業外費用	3,459,000	3,158,435	91.3	0.1	300,565
特別損失	20,000	14,958	74.8	0.0	5,042
予備費	100,000	0	—	0.0	100,000
<b>生活排水処理事業費用</b>	<b>19,864,000</b>	<b>18,417,454</b>	<b>92.7</b>	<b>0.7</b>	<b>1,446,546</b>
営業費用	17,694,000	16,581,684	93.7	0.6	1,112,316
営業外費用	2,020,000	1,824,041	90.3	0.1	195,959
特別損失	50,000	11,729	23.5	0.0	38,271
予備費	100,000	0	—	0.0	100,000
<b>合 計</b>	<b>2,854,894,000</b>	<b>2,811,952,910</b>	<b>98.5</b>	<b>100.0</b>	<b>42,941,090</b>

収益的収入の決算額は27億502万円で収入率が99.6%、収益的支出の決算額は28億1,195万円で執行率が98.5%である。

収入の構成比率は、公共下水道事業収益が20.4%、特定環境保全公共下水道事業収益が57.6%、農業集落排水事業収益が19.7%、小規模集合排水処理事業収益が0.7%、個別排水処理事業収益が1.0%、生活排水処理事業収益が0.7%である。

支出の構成比率は、公共下水道事業費用が20.5%、特定環境保全公共下水道事業費用が55.9%、農業集落排水事業費用が21.2%、小規模集合排水処理事業費用が0.7%、個別排水処理事業費用が1.1%、生活排水処理事業費用が0.7%である。

② 資本的收入及び支出

《収入》

(単位：円・%)

区 分	予算額	決算額	収入率	予算額に比べ 決算額の増減
<b>公共下水道事業資本的収入</b>	<b>337,799,000</b>	<b>309,192,686</b>	<b>91.5</b>	<b>△ 28,606,314</b>
出 資 金	253,774,000	253,374,000	99.8	△ 400,000
企 業 債	39,900,000	23,200,000	58.1	△ 16,700,000
補 助 金	42,100,000	32,254,000	76.6	△ 9,846,000
負 担 金	1,988,000	308,400	15.5	△ 1,679,600
基 金 収 入	37,000	20,106	54.3	△ 16,894
固 定 資 産 売 却 代 金	0	36,180	—	36,180
<b>特定環境保全公共下水道事業資本的収入</b>	<b>325,430,000</b>	<b>323,385,469</b>	<b>99.4</b>	<b>△ 2,044,531</b>
出 資 金	322,302,000	322,302,000	100.0	0
負 担 金	3,000,000	970,000	32.3	△ 2,030,000
基 金 収 入	128,000	113,469	88.6	△ 14,531
<b>農業集落排水事業資本的収入</b>	<b>170,986,000</b>	<b>170,058,085</b>	<b>99.5</b>	<b>△ 927,915</b>
出 資 金	169,120,000	169,120,000	100.0	0
負 担 金	1,600,000	600,000	37.5	△ 1,000,000
基 金 収 入	266,000	338,085	127.1	72,085
<b>小規模集合排水処理事業資本的収入</b>	<b>5,687,000</b>	<b>5,327,000</b>	<b>93.7</b>	<b>△ 360,000</b>
出 資 金	5,327,000	5,327,000	100.0	0
負 担 金	360,000	0	0.0	△ 360,000
<b>個別排水処理事業資本的収入</b>	<b>14,758,000</b>	<b>5,657,508</b>	<b>38.3</b>	<b>△ 9,100,492</b>
出 資 金	2,956,000	2,956,000	100.0	0
企 業 債	11,000,000	2,700,000	24.5	△ 8,300,000
負 担 金	800,000	0	0.0	△ 800,000
基 金 収 入	2,000	1,508	75.4	△ 492
<b>生活排水処理事業資本的収入</b>	<b>501,000</b>	<b>497,532</b>	<b>99.3</b>	<b>△ 3,468</b>
出 資 金	493,000	493,000	100.0	0
基 金 収 入	8,000	4,532	56.7	△ 3,468
<b>合 計</b>	<b>855,161,000</b>	<b>814,118,280</b>	<b>95.2</b>	<b>△ 41,042,720</b>

《支出》

(単位：円・%)

区 分	予算額	決算額	執行率	不用額
<b>公共下水道事業資本的支出</b>	<b>488,822,000</b>	<b>460,414,095</b>	<b>94.2</b>	<b>28,407,905</b>
建設改良費	154,000,000	125,611,300	81.6	28,388,700
企業債償還金	334,784,000	334,782,689	100.0	1,311
積立金	38,000	20,106	52.9	17,894
<b>特定環境保全公共下水道事業資本的支出</b>	<b>978,553,000</b>	<b>969,724,498</b>	<b>99.1</b>	<b>8,828,502</b>
建設改良費	30,320,000	21,508,200	70.9	8,811,800
企業債償還金	948,103,000	948,102,829	100.0	171
積立金	130,000	113,469	87.3	16,531
<b>農業集落排水事業資本的支出</b>	<b>330,032,000</b>	<b>327,479,960</b>	<b>99.2</b>	<b>2,552,040</b>
建設改良費	7,228,000	4,606,200	63.7	2,621,800
企業債償還金	322,536,000	322,535,675	100.0	325
積立金	268,000	338,085	126.2	△ 70,085
<b>小規模集合排水処理事業資本的支出</b>	<b>13,818,000</b>	<b>13,517,185</b>	<b>97.8</b>	<b>300,815</b>
建設改良費	300,000	0	0.0	300,000
企業債償還金	13,518,000	13,517,185	100.0	815
<b>個別排水処理事業資本的支出</b>	<b>19,732,000</b>	<b>11,383,572</b>	<b>57.7</b>	<b>8,348,428</b>
建設改良費	11,100,000	2,754,000	24.8	8,346,000
企業債償還金	8,629,000	8,628,064	100.0	936
積立金	3,000	1,508	50.3	1,492
<b>生活排水処理事業資本的支出</b>	<b>3,131,000</b>	<b>3,125,873</b>	<b>99.8</b>	<b>5,127</b>
企業債償還金	3,122,000	3,121,341	100.0	659
積立金	9,000	4,532	50.4	4,468
<b>合 計</b>	<b>1,834,088,000</b>	<b>1,785,645,183</b>	<b>97.4</b>	<b>48,442,817</b>

資本的収入決算額 8 億 1,412 万円の事業ごとの内訳は、公共下水道事業 3 億 919 万円、特定環境保全公共下水道事業 3 億 2,339 万円、農業集落排水事業 1 億 7,006 万円、小規模集合排水処理事業 533 万円、個別排水処理事業 566 万円、生活排水処理事業 50 万円であり、予算額 8 億 5,516 万円に対し収入率は 95.2%となっている。

資本的支出決算額 17 億 8,565 万円の事業ごとの内訳は、公共下水道事業 4 億 6,041 万円、特定環境保全公共下水道事業 9 億 6,972 万円、農業集落排水事業 3 億 2,748 万円、小規模集合排水処理事業 1,352 万円、個別排水処理事業 1,138 万円、生活排水処理事業 313 万円であり、予算額 18 億 3,409 万円に対し執行率は 97.4%となっている。

### (3) 経営成績

#### ① 損益計算書

当年度の経営成績は、次のとおりである。

#### 損益計算書

(単位：円・%)

年度 科目	28		27		対前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
営業収益	428,676,083	16.0	405,597,685	15.0	23,078,398	5.7
下水道使用料	411,499,924	15.4	395,327,160	14.6	16,172,764	4.1
他会計負担金	3,261,000	0.1	3,952,000	0.1	△ 691,000	△ 17.5
受託工事収益	13,867,200	0.5	6,191,640	0.2	7,675,560	124.0
その他の営業収益	47,959	0.0	126,885	0.0	△ 78,926	△ 62.2
営業費用	2,317,542,220	83.2	2,326,668,610	81.9	△ 9,126,390	△ 0.4
管渠費	73,291,238	2.6	76,089,428	2.7	△ 2,798,190	△ 3.7
ポンプ場費	698,712	0.0	727,598	0.0	△ 28,886	△ 4.0
処理場費	352,280,400	12.7	355,195,929	12.5	△ 2,915,529	△ 0.8
浄化槽費	27,335,193	1.0	25,211,701	0.9	2,123,492	8.4
受託工事費	12,840,000	0.5	5,733,000	0.2	7,107,000	124.0
総係費	117,967,488	4.2	113,623,315	4.0	4,344,173	3.8
減価償却費	1,732,635,577	62.2	1,730,562,649	60.9	2,072,928	0.1
資産減耗費	493,612	0.0	19,524,990	0.7	△ 19,031,378	△ 97.5
営業損失	1,888,866,137	—	1,921,070,925	—	△ 32,204,788	△ 1.7
営業外収益	2,243,184,314	83.9	2,297,854,146	85.0	△ 54,669,832	△ 2.4
受取利息及び配当金	15,845	0.0	123,065	0.0	△ 107,220	△ 87.1
他会計負担金	1,384,943,000	51.8	1,448,047,000	53.6	△ 63,104,000	△ 4.4
他会計補助金	205,524,000	7.7	185,935,000	6.9	19,589,000	10.5
長期前受金戻入	652,656,769	24.4	663,456,681	24.5	△ 10,799,912	△ 1.6
雑収益	44,700	0.0	292,400	0.0	△ 247,700	△ 84.7
営業外費用	465,652,412	16.7	513,982,456	18.1	△ 48,330,044	△ 9.4
支払利息及び企業債取扱諸費	454,656,377	16.3	489,751,268	17.2	△ 35,094,891	△ 7.2
雑支出	10,996,035	0.4	24,231,188	0.9	△ 13,235,153	△ 54.6
経常損失	111,334,235	—	137,199,235	—	△ 25,865,000	△ 18.9
特別利益	261,740	0.0	0	0.0	261,740	皆増
過年度損益修正益	261,740	0.0	0	0.0	261,740	皆増
固定資産売却益	0	0.0	0	0.0	0	—
特別損失	902,355	0.0	786,128	0.0	116,227	14.8
特別損失	0	0.0	0	—	0	—
過年度損益修正損	902,355	0.0	786,128	0.0	116,227	14.8
固定資産売却損	0	0.0	0	0.0	0	—
当年度純損失	111,974,850	—	137,985,363	—	△ 26,010,513	△ 18.9
前年度繰越欠損金	1,728,626,208	—	1,590,640,845	—	137,985,363	8.7
当年度未処理欠損金	1,840,601,058	—	1,728,626,208	—	111,974,850	6.5

(注) 構成比は総収益、総費用に対する比率である。

ア 営業損益

営業収益 4 億 2,868 万円から営業費用 23 億 1,754 万円を控除した営業損失は、18 億 8,886 万円となっている。

イ 経常損益

営業損失に営業外収益 22 億 4,318 万円及び営業外費用 4 億 6,565 万円を加減算した経常損失は、1 億 1,133 万円となっている。

ウ 純損益

経常損失に特別利益 26 万円及び特別損失 90 万円を加減算した当年度純損失は、1 億 1,197 万円となっている。

② 未収金の状況について

ア 下水道分担金・負担金の未収金状況は、次表のとおりである。

(単位：円・%)

区 分		年 度		対前年度比	
		28	27	増 減	増減率
現 年 度 分	公 共 下 水 道 負 担 金	0	25,700	△ 25,700	皆減
	特定環境保全公共下水道負担金	0	0	0	—
	農業集落排水事業分担金	0	0	0	—
	小規模集合排水事業分担金	0	0	0	—
	個別排水事業分担金	0	0	0	—
	生活排水施設事業分担金	0	0	0	—
	計	0	25,700	△ 25,700	皆減
過 年 度 分	公 共 下 水 道 負 担 金	10,743,590	10,905,340	△ 161,750	△ 1.5
	特定環境保全公共下水道負担金	13,495,630	13,785,180	△ 289,550	△ 2.1
	農業集落排水事業分担金	6,022,400	6,097,400	△ 75,000	△ 1.2
	小規模集合排水事業分担金	449,600	471,000	△ 21,400	△ 4.5
	個別排水事業分担金	283,000	283,000	0	0.0
	生活排水施設事業分担金	0	0	0	—
	計	30,994,220	31,541,920	△ 547,700	△ 1.7
合 計		30,994,220	31,567,620	△ 573,400	△ 1.8

イ 下水道使用料の未収金状況は、次表のとおりである。

(単位：円・%)

区 分		年 度		対前年度比	
		28	27	増 減	増減率
現 年 度 分	公 共 下 水 道 使 用 料	15,660,877	14,769,139	891,738	6.0
	特定環境保全公共下水道使用料	19,244,151	19,407,759	△ 163,608	△ 0.8
	農 業 集 落 排 水 使 用 料	4,913,370	4,976,098	△ 62,728	△ 1.3
	小 規 模 集 合 排 水 使 用 料	161,413	283,942	△ 122,529	△ 43.2
	個 別 排 水 使 用 料	629,819	556,646	73,173	13.1
	生 活 排 水 使 用 料	527,738	453,790	73,948	16.3
	計	41,137,368	40,447,374	689,994	1.7
過 年 度 分	公 共 下 水 道 使 用 料	5,060,908	4,996,442	64,466	1.3
	特定環境保全公共下水道使用料	744,985	624,466	120,519	19.3
	農 業 集 落 排 水 使 用 料	776,936	682,149	94,787	13.9
	小 規 模 集 合 排 水 使 用 料	8,767	8,767	0	0.0
	個 別 排 水 使 用 料	1,814	0	1,814	皆増
	生 活 排 水 使 用 料	0	0	0	—
	計	6,593,410	6,311,824	281,586	4.5
合 計		<b>47,730,778</b>	46,759,198	<b>971,580</b>	2.1

平成28年度末現在の下水道分担金・負担金の未収金は、3,099万円で前年度と比べると57万円(1.8%)減少しているが、下水道使用料の未収金は、4,773万円で前年度と比べると97万円(2.1%)増加している。なお、分担金等の未収金については、内容を十分精査し、収納困難な状況になっているものについては、不納欠損等の処理も踏まえ、適正で慎重な事務処理に留意することを望む。

#### (4) 財政状況

① 財政の状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

《資産の部》

(単位：円・%)

年度 科目	28		27		対前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
<b>固定資産</b>	<b>47,645,465,356</b>	<b>99.0</b>	<b>49,235,080,085</b>	<b>98.6</b>	<b>△ 1,589,614,729</b>	<b>△ 3.2</b>
有形固定資産	46,990,324,573	97.6	48,580,417,002	97.3	△ 1,590,092,429	△ 3.3
土地	779,982,375	1.6	779,982,375	1.6	0	0.0
建物	1,614,649,804	3.4	1,624,086,221	3.3	△ 9,436,417	△ 0.6
構築物	40,051,041,316	83.2	41,085,766,801	82.3	△ 1,034,725,485	△ 2.5
機械及び装置	4,515,309,470	9.4	5,088,877,359	10.2	△ 573,567,889	△ 11.3
車両運搬具	1,310,989	0.0	668,252	0.0	642,737	96.2
工具器具及び備品	19,550,619	0.0	1,035,994	0.0	18,514,625	1,787.1
建設仮勘定	8,480,000	0.0	0	0.0	8,480,000	皆増
投資	655,140,783	1.4	654,663,083	1.3	477,700	0.1
基金	634,946,821	1.3	634,469,121	1.3	477,700	0.1
建設基金	279,271,569	0.6	279,166,940	0.6	104,629	0.0
償還基金	355,675,252	0.7	355,302,181	0.7	373,071	0.1
その他投資	20,193,962	0.0	20,193,962	0.0	0	0.0
<b>流動資産</b>	<b>499,335,589</b>	<b>1.0</b>	<b>707,509,872</b>	<b>1.4</b>	<b>△ 208,174,283</b>	<b>△ 29.4</b>
現金預金	392,862,309	0.8	510,561,901	1.0	△ 117,699,592	△ 23.1
未収金	106,473,280	0.2	196,947,971	0.4	△ 90,474,691	△ 45.9
未収金	130,446,280	0.3	215,850,971	0.4	△ 85,404,691	△ 39.6
貸倒引当金	△ 23,973,000	△ 0.0	△ 18,903,000	△ 0.0	△ 5,070,000	26.8
<b>資産合計</b>	<b>48,144,800,945</b>	<b>100.0</b>	<b>49,942,589,957</b>	<b>100.0</b>	<b>△ 1,797,789,012</b>	<b>△ 3.6</b>

《負債及び資本の部》

(単位：円・%)

年度 科目	28		27		対前年度	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
固定負債(企業債)	21,301,259,818	44.2	22,961,931,795	46.0	△ 1,660,671,977	△ 7.2
流動負債	204,720,718	0.4	365,421,734	0.7	△ 160,701,016	△ 44.0
企業債	80,645,606	0.2	24,761,412	0.0	55,884,194	225.7
未払金	116,171,112	0.2	333,461,322	0.7	△ 217,290,210	△ 65.2
引当金(賞与引当金)	7,904,000	0.0	7,199,000	0.0	705,000	9.8
繰延収益	16,812,314,025	34.9	17,432,716,794	34.9	△ 620,402,769	△ 3.6
長期前受金	28,041,750,758	58.2	28,013,744,431	56.1	28,006,327	0.1
長期前受金収益化累計額	△11,229,436,733	△23.3	△10,581,027,637	△21.2	△ 648,409,096	6.1
資本金	11,136,167,625	23.1	10,382,595,625	20.8	753,572,000	7.3
自己資本金	11,136,167,625	23.1	10,382,595,625	20.8	753,572,000	7.3
固有資本金	5,440,829,625	11.3	5,440,829,625	10.9	0	0.0
繰入資本金	5,695,338,000	11.8	4,941,766,000	9.9	753,572,000	15.2
剰余金	△ 1,309,661,241	△ 2.7	△ 1,200,075,991	△ 2.4	△ 109,585,250	9.1
資本剰余金	530,939,817	1.1	528,550,217	1.1	2,389,600	0.5
国庫補助金	352,620,491	0.7	352,620,491	0.7	0	0.0
県補助金	37,182,847	0.1	37,182,847	0.1	0	0.0
分担金及び負担金	110,587,135	0.2	108,708,735	0.2	1,878,400	1.7
その他資本剰余金	30,549,344	0.1	30,038,144	0.1	511,200	1.7
欠損金	1,840,601,058	3.8	1,728,626,208	3.5	111,974,850	6.5
前年度未処理欠損金	1,728,626,208	3.6	1,590,640,845	3.2	137,985,363	8.7
当年度未処理欠損金	111,974,850	0.2	137,985,363	0.3	△ 26,010,513	△ 18.9
負債・資本合計	48,144,800,945	100.0	49,942,589,957	100.0	△ 1,797,789,012	△ 3.6

資産総額は481億4,480万円で、内訳は固定資産が476億4,547万円、流動資産が4億9,934万円である。また、資産の調達資金源を示す負債及び資本の構成は、固定負債が213億126万円、流動負債が2億472万円、繰延収益が168億1,231万円、資本金が111億3,617万円、剰余金が△13億966万円である。

## (5) む す び

### ① 業務実績について

下水道事業の将来展望は、公共用水域の水質保全を図り、身近な自然環境に与える負荷を軽減し、快適な生活環境を提供することである。

なお、美作市の下水道事業は、昭和 52 年に美作地域で着手してから毎年整備をすすめ、現在の処理区域面積は 1,516ha であり、美作市内すべての下水道整備が完了している。

本年度末における水洗化人口は 24,466 人、水洗化世帯は 10,198 世帯であり、前年度と比較すると、水洗化人口は 250 人減少、水洗化世帯は 70 世帯増加している。これは、整備完了に伴い水洗化の世帯数が少しずつ増加しているものであり、年間総処理水量は、3,168,256 m<sup>3</sup>、年間総有収水量は、2,877,916 m<sup>3</sup>であり、前年度と比較すると年間総処理水量は 72,018 m<sup>3</sup>増加しているが、年間総有収水量は 18,906 m<sup>3</sup>減少している。

平成 21 年度に、経営内容の透明化、及び使用料の適正化並びにコスト・管理の縮減を目指して、地方公営企業に移行し、独立採算の形態で事業を運営することとした下水道会計であるが、一般会計からの補助金等でまかなわれているのが現状である。一般会計からの繰入金は 15 億 9,373 万円であり、収益合計の 59.6%を占めている。そのうち基準外繰入は 2 億 552 万円で、収益合計の 7.7%となっている。

なお、当年度も純損失 1 億 1,197 万円（累積 18 億 4,060 万円）となっているが、これらは減価償却費計上に係るものである。

### ② 意見と指摘事項

現在使用中の施設は耐用年数の経過に伴う老朽化により、維持修繕費が増加傾向にある。このため施設の統廃合を推進し、未水洗世帯に対する水洗化の啓蒙を行い、使用料収入の確保及び未収金回収の強化による収納率の向上や、効率的な設備維持管理を行い、徹底した経費の削減を計るほか、汚泥の資源化・エネルギー化についての検討等にも取り組むなどして、経営基盤の強化を図られたい。